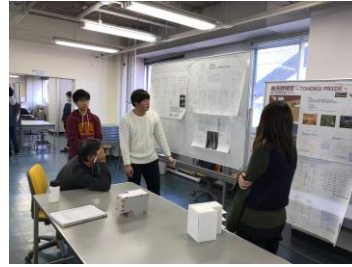


Pick Up News 新年あけましておめでとうございます。2019年も建築学科学生一人ひとりにとって実りの多い年となりますように期待しています。4年生は1月下旬の卒業論文・設計の提出、2月7-8日の発表会、2月22日から開催のせんだいメディアテークでの発表・展示会に向けて24時間体制で作業に取り組んでいます。大学生活最後の時間。一つのこと、これだけ没頭することができるのがいかに幸せなことか、将来あらためて感じることでしょう。目の前にあるハードルを一つひとつ乗り越え、大学生活を納得いく形で締めくくって下さい。1~3年生は各課題の提出・発表も終え、いよいよ試験を残すのみ。一年間の集大成です。精一杯頑張ってください。また、3年生は進路を本格的に考える時期、2年生はコース選択を意識して自分の適性を見つめる時期でもあります。じっくりと考え、素早く行動しましょう。



各学年の設計課題は提出と発表・講評会の時期。1.5か月間での課題。何もないところから、与えられた条件に沿って、毎週のエキスを重ねての成果発表。設計の難しさや大変さを感じることに同時に、新しいものを生み出す喜び、やり遂げた達成感は次の学年での取り組みにつながります。限られた時間の中で精一杯取り組むことで力がついていきます。



【予告】
2/22(金)午後
せんだいメディアテーク設計発表会
審査員決定!(敬称略)
高橋 堅(高橋堅建築設計事務所代表)
斎藤 啓(伊藤喜三郎仙台支店)
小針 智幸(アトリエノルド代表取締役)
大嶋 貴明(宮城県美術館学芸員)
巖 爽(宮城学院女子大学教授)



1年~3年設計課題の発表会・講評会の風景: 1年住宅 2年オフィス 3年都市と建築

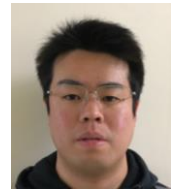
Pick Up Lab. 許研究室は環境・設備分野の研究室で大学院生3名、4年生10名と3年生10名、計23名の体制です。2007年研究室発足以来、最多の学生数です。2019年は新時代に向けて、当研究室は環境設備設計における環境計測・省エネルギー解析及びBIM技術力の養成を目標としています。主に下記3つのテーマを中心に展開します。
●IAQ(Indoor Air Quality)環境計測: 室内環境を計測し、省エネルギー対策を提案
●BIM(Building Information Modeling)設計: 負荷計算・抵抗計算・設備設計などに重点をおき、実践的にIFC(BIMの国際仕様)データの活用とプログラミングの連携
●IoT(Internet of Things)技術応用: マイコンボード(Arduino等)を用いた環境測定・省エネ装置の開発



実測風景

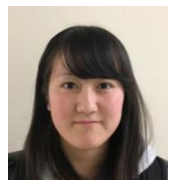


3年生の集合写真



4年 河野 哲弥くん
相馬東高校(福島)出身

Pick Up Student 私にとって3年生後半から4年生前半にかけては、採用候補者試験の対策を行うとともに、卒業論文の作成に向けた調査や情報の整理・分析をしなければならないということから多忙な日々でした。そのため、日々の時間の経過を早く感じていました。一方で現在は、進路決定のための様々な活動を達成したとともに、卒業論文の作成を予定通り進捗させることが可能となっているため、これは時間を有意義に活用できていた証拠であると実感できています。また、今年度も残りわずかととなり、卒業論文の提出期日も近づいていることから、この最終提出に向け、完成度の高い論文とするため、日々奮闘しています。



1年 伊藤 千尋さん
花巻南高校(岩手)出身

Pick Up Student 私は普通科の高校から入学しました。入ったばかりの頃は、建築の専門科目のこと、高校で履修していなかった物理のこと、友達が出来るのかなど不安でいっぱいでした。しかし、実際に大学で生活していると、不安を吹き飛ばすくらいに楽しいことがいっぱいでした。課外活動で新しく友達が出来たり、先輩など様々な人と関わることで、いろんなことを知ることが出来ました。大学生活で今私が頑張っていることは、設計課題です。初めての住宅設計で、分からないことがたくさんありますが、友達との意見交換やエキスキスでの先生からのアドバイスを元に、より考えを深めています。これから課題を進めていく上で上手く自分の考えを形に出来るように頑張っていきたいです。